

水稻病害虫発生調査結果

第2号 <8月18日発行>

兵庫県農業共済組合・たつの市・太子町

兵庫西農業協同組合・龍野農業改良普及センター

1 病害虫の発生状況

(6カ所調査による平均 8月14日調査、去年は8月15日調査)

	ヒメビ ウンカ (頭)	セジロ ウンカ (頭)	トビロ ウンカ (頭)	ヨコバイ 類 (頭)	カメムシ 類 (頭)	縞葉枯 病 (%)	紋枯 病 (%)	いもち 病 (%)
令和5年	0.85	0.70	0.0	0.02	0.02	0.0	1.3	5.3
昨年	0.45	0.42	0.0	0.02	0.0	0.0	14.7	0.3

ウンカ類、ヨコバイ類は、株当たり虫数、カメムシ類は10回すくいどり虫数、縞葉枯病・紋枯病・いもち病は発生株率(%)

- ・いもち病：一部の圃場で発生が見られましたが、発生の程度は少ないです。
なお、全て停止型となっています。
- ・紋枯病、カメムシ類：発生量は少ないです。
- ・縞葉枯病、トビイロウンカ：発生は見られませんでした。
- ・ヒメトビウンカ、セジロウンカ、ヨコバイ類：発生量は少ないです。

【近畿地方向こう1か月(8月12日～9月11日)の天候の見通し】(大阪管区气象台発表)

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下の通りです。

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率80%です。

週別の気温は、1週目と2週目は高い確率70%です。3～4週目は高い確率50%です。

2 病害虫防除のポイント等

令和5年8月8日に兵庫県病害虫防除所から病害虫発生予報が出され、斑点米カメムシ類(イネカメムシ等)の発生は「やや多い」と予想されています。

特にイネカメムシは出穂直後から穂を加害して不稔穂を発生させるなど収量への影響が大きくなる恐れがあります。他のカメムシ類も含め、圃場内に発生が見られる場合は薬剤防除を検討してください。

なお、粒剤を施用する場合、効果が得られるまでに日数がかかることを考慮してください。



イネカメムシ

この情報は、兵庫県農業共済組合ホームページでも確認できます。(<http://www.nosai-hyogo.or.jp/>)

農薬等は JA 兵庫西の 2023 年度水稻栽培暦を参考にして下さい